

平成 20 年度用教科書では以下について訂正致します。ご迷惑をお掛け致しますこと、謹んでお詫び申し上げますと共に、ご指導に際しまして、ご配慮戴きますようお願い申し上げます。

(株)新興出版社啓林館編集部

訂正箇所		原文	訂正文
頁	行		
23	図 6	その <u>右側</u> (南西側) が	その <u>左側</u> (南西側) が
23	図 6	<u>左側</u> (北東側) が	<u>右側</u> (北東側) が
35	図 23	北海道東方沖地震 1994 年 マグニチュード 8.1 三陸はるか沖地震 1994 年 マグニチュード 7.5	北海道東方沖地震 1994 年 マグニチュード 8.2 三陸はるか沖地震 1994 年 マグニチュード 7.6
200	図 26	(極大期が 1989 年, 1979 年, 1968 年, 1957 年...になるよう目盛りの位置を変更)	

改善のための訂正

訂正箇所		原文	訂正文
頁	行		
10	24-25 行目	フランス国内の観測から地球は南北に長いと <u>考えていた</u> フランス学士院は、	<u>一方</u> , フランス国内の観測から地球は南北に長いという説もあり, フランス学士院は、
12	図 8	(棒磁石の軸を示す黒の点線と 11° の数値をとる。また, S 極, N 極の文字を見やすくする)	
30	図 14(b)	(罫線の色を黒に変更する)	
38	8 行目	高くなる	大きくなる
38	10 行目	高くなる	大きくなる
38	図 28	高い	大きい
85	図 11	岐阜県各務原市	岐阜県各務原市
107	3-4 行目	縞鉄鉄鉱層から採掘したものである。	縞鉄鉄鉱層の酸化鉄を多く含む部分から採掘したものである。
129	2-4 行目	大気は重力によって地球の重心に向かってひきつけられている。	大気は重力によって地表にひきつけられている。
129	16 行目	気圧は <u>小さ</u> くなる。	気圧は <u>低</u> くなる。
191	表 1 衛星の数	多い(8~)	多い(13~)
194	1 行目	太陽系の <u>小</u> 天体	太陽系の <u>いろいろ</u> な天体
194	23 行目	2004 年現在	2007 年現在
195	15 行目	海王星 <u>以遠</u> の天体	太陽系外縁天体
195	20-28 行目	そのなかには、直径が 1000km 以上と推定されるものもいくつかある。 <u>これらは太陽系の外縁をとり巻くエッジワース・カイパーベルトとよばれるリング状あるいは殻状の領域の天体で、46 億年前の原始太陽系星雲の中で惑星になりきれずに残った微惑星と考えられている。</u>	これらは太陽系外縁天体とよばれ、そのなかには、直径が 1000km 以上と推定されるものもいくつかある。 <u>これらの天体は、46 億年前の原始太陽系星雲の中の微惑星が、惑星になりきれずに残ったものと考えられている。</u>
195	図 18	(エリスの軌道を追加し、惑星を黒、太陽系外縁天体を赤で色分けする) 図 18 <u>エッジワース・カイパーベルトの天体クワオアの軌道</u> クワオアは直径が約 1000km と推定され、公転周期は 285 年である。なお各天体の位置は 2006 年 1 月のものである。	図 18 太陽系外縁天体の軌道 太陽系外縁天体の直径は冥王星が約 2400km, クワオアが約 1000km, エリスが約 2500km, 公転周期は冥王星が約 250 年, クワオアが約 290 年, エリスが約 560 年と推定されている。なお各天体の位置は 2008 年 1 月のものである。
198	図 21	(図左下のプロミネンスを削除し、図右上のプロミネンスをアーチ形のものに変更)	
200	図 26	(横軸に目盛りを入れ、また数値を 20 年ごとに減らす)	
211	図 8	(太陽を表す赤丸を 1.5mm 右へ移動)	
212	図 9	(絶対等級の目盛りを 1mm ずつ上方へずらし、主系列星の丸の並びを右下方へ延長)	
219	図 19(c)	りゅうこつ座イータ星	りゅうこつ座 ^{イータ} 星
247	資料 2 ひずい輝石	緑	白~緑・青
250	資料 4 風力記号	(一番上の矢羽の長さとして以外の矢羽の長さが 3 : 2 になるよう図を変更)	
251	2 行目	理科年表 2006 年版にもとづく。	理科年表 2007 年版にもとづく。
251	土星 衛星数	50	59
253	全天星図 南天	(星座名等の書体を p.252 北天と同じものに変更)	
裏表紙		(ISBN コードとバーコード変更により白マドヌキの形を変更)	